



- ㊦ 笑顔あふれる子どもに
- ㊧ 美しくきれいな子どもに
- ㊨ 進んで学び働く子どもに

令和6年9月19日
北九州市立若松中央小学校
校長 野口 友加



様々なことを学び、最高の思い出になりました！ 6年生修学旅行



9月11日(水)～12日(木)、6年生が修学旅行に行ってきました。1日目はまず、福岡県青少年科学館に行きました。放電実験ショーでは、落雷実験やアーク放電、路面放電を見ました。大きな音や一瞬で落ちる落雷の威力に驚きました。その後、班に分かれ、宇宙や地球のこと、科学のことについて様々な体験学習をしました。次に吉野ヶ里遺跡に行き、昼食と遺跡の

見学をしました。物見櫓(ものみやぐら)や竪穴(たてあな)住居のほか、集会の館や煮焚き屋などを見て、弥生時代の生活を体感しました。そして、全児童で平和を願って折った千羽鶴を持って、大刀洗平和祈念館に向かいました。平和集会では、若松中央小学校の児童を



代表して、戦争のない平和な世界を作ることを誓いました。記念館では、特攻兵たちの残した言葉や当時の写真等を見て、改めて平和の尊さを実感しました。記念館での体験が6年生から全校児童に平和を守っていく心として育てて欲しいと思います。2日

目は、楽しみにしていた城島高原パークでの班別行動です。晴天の下、子どもたちは様々なアトラクションを楽しみました。班員みんなが楽しめるように話し合いながら、どのアトラクションに乗ろうかと園内を回っている姿が印象的でした。最後の見学場所、アフリカンサファリでは、ジャングルバスに乗って、ライオンやゾウ、ラクダなどの野生動物に餌をあげながら動物の生態を観察しました。目の前に現れる動物たちの迫力に圧倒されながらも、餌を与えるたびに歓声が沸き起こっていました。



今回の修学旅行で、6年生は公の場でのマナーを学び、班の仲間で教え合ったり、助け合ったりとよい判断をして行動する姿をたくさん見ることができました。熱中症に注意しながらの修学旅行でしたが、小学校生活の最高の思い出となったのではないのでしょうか。



シェイクアウト訓練をしました

シェイクアウト訓練とは、地震の際の安全確保である「命を守る3動作(① 姿勢を低くする ② 頭・体を守る ③ 揺れが収まるまでじっとしている)」を約1分間で、誰でも・どこでも・気軽に・簡単に行うことができる防災訓練のことです。9

月1日の「防災の日」に合わせて、本校では9月2日に行いました。地震が起きたときを想定し、机の下に潜り込み、頭や体を守る訓練を行いました。慌てず落ち着いて、自分の命を守る行動をとることができていました。今後も様々な訓練を通して、「自分の命は自分で守る」意識を高めていきます。



10月、11月行事予定

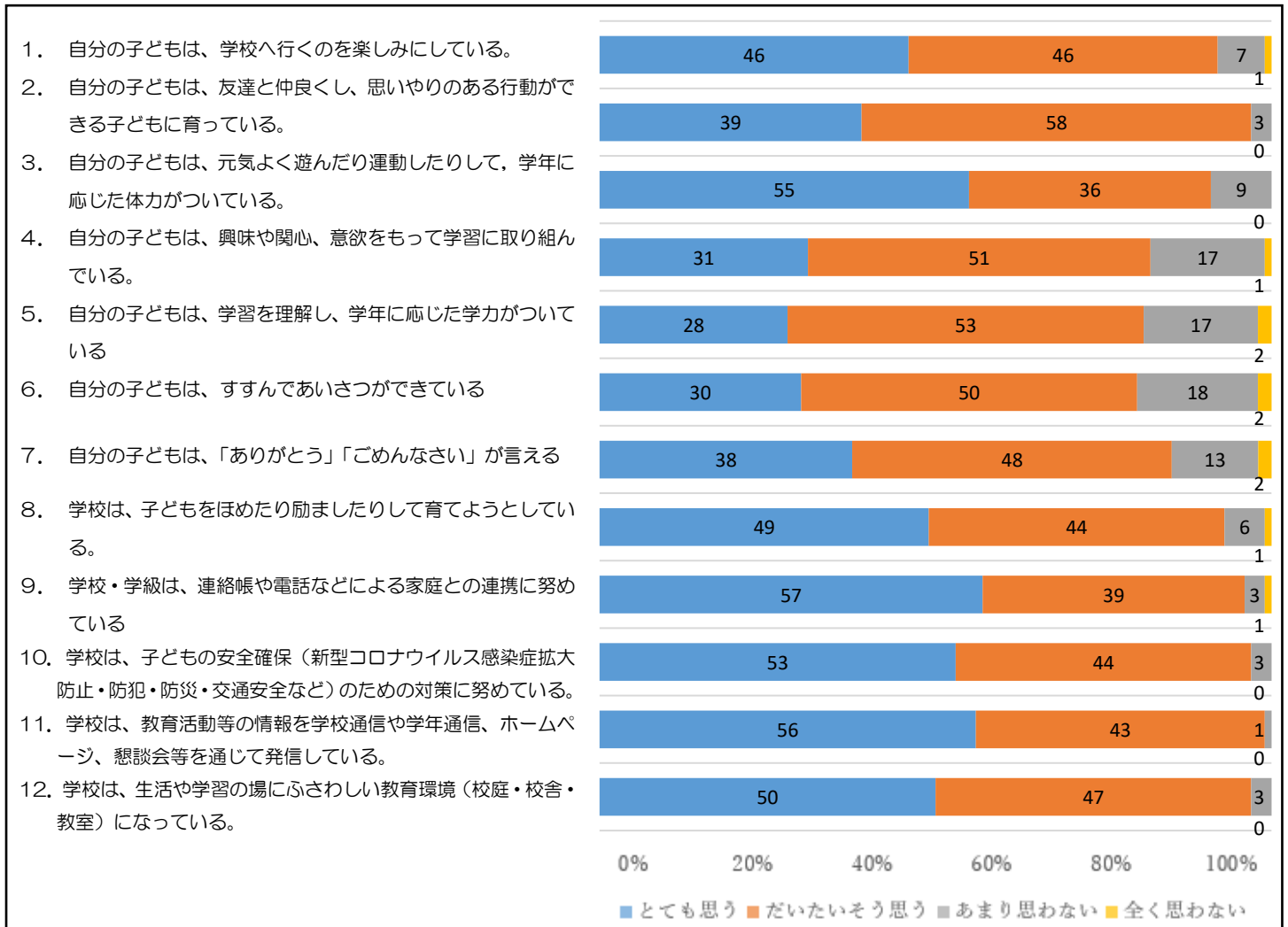
10月 1日(火) スクール救命士(6年)
2日(水) まち探検(2年)
3日(木) 鉄棒教室(4年)
9日(水)、10日(木) 自然教室(5年)
11日(金) 前期終業式
15日(火) 後期始業式
17日(木) こころの劇場(6年)
18日(金) お店見学(3年)
28日(月)～11月2日(土) 学校開放週間

11月 1日(金) 学習発表会(児童観覧日)
2日(土) 学習発表会(保護者観覧日)
5日(火) 学習発表会の代休
7日(木) お店体験面接(3年)
13日(水) 就学時健康診断(新入生)
19日(火)、20日(水) お店体験(3年)
21日(木) 鉄棒教室(4年)
26日(火) 夢授業(6年)
28日(木) 自転車教室(4年)

学校評価アンケート結果（前期）について

学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。本校では、『豊かな心とたくましく生きる力を身につけた元気な子どもの育成』を学校目標に、「一人一人が輝く学校」を目指して、職員一丸となって子どもたちの指導に努めております。保護者の皆様の貴重なご意見を通して、本校の教育活動の成果と課題をしっかりとらえ、前期後半からの学校運営、学年・学級運営に生かしてまいります。

これからも、本校の教育活動へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



【アンケートの集計結果、ご意見等から】

学校教育の取組について、全般的に肯定的なご回答をいただき、職員一同、さらに子どもたちのよさを高めていこうと意欲が増しております。その一方で、「興味や関心、意欲をもって学習に取り組んでいる」「学年に応じた学力がついている」に課題があるように思います。子どもたちが「学びたい、やってみたい」と思う授業、一時間を振り返って「分かった、できた、楽しかった」と思える授業づくりに取り組んでまいります。また、「すすんであいさつができる」「『ありがとう』『ごめんなさい』が言える」などのあたたかい心を相手に伝えるコミュニケーション能力の育成については、学級活動や道徳の時間等学校生活全体を通して育ててまいります。ご意見の中に、放課後の遊び方等を心配されている内容がありました。危険な遊びだけではなく、やってよいかどうかを考えて行動することについても、引き続き指導を行ってまいります。「学校は子どもをほめたり励ましたりして育てようとしている」については、これからも、担任の先生だけではなく、職員全員で子どもたちの頑張りを支援してまいります。

貴重なご意見、ありがとうございました。子どもたちの安全をはじめ様々な教育活動について積極的に情報発信するとともに、保護者の皆様に子どもたちの頑張っている姿を見ていただけるようにこれからも努めてまいります。